

平成 30 年度祥明大 短期研修を終えて

熊本県立大学 文学部 英語英米文学科 3年 竹山陸斗

日本から一番近い国「韓国」。そんなお隣の国へ私は研修に行きました。9月10日から9月17日の8日間という短い期間でしたが、たくさんの方々の協力と支えがあり、多くのことを学ぶことのできた貴重な時間になりました。以下では、私が韓国で経験したこと、感じたことを書いていきたいと思います。



私はこの8日間で色んなところを訪れました。「昌徳宮」「ロッテワールド」「広蔵市場」「ロッテワールド」「鳥取島(オイド)」など、他にも有名な観光地やショッピングモール、にも足を運ぶことができました。行くところ行くところで学ぶもの、感動するものがあったり、初めて経験したこともありました。

しかし、私が短期研修中に学んだことの中で心に残っているのは、韓国の大学生は大学在学中に休学をする人が多いという事でした。それも単なる休学ではなく、ワーキングホリデーを利用して海外でインターンシップや留学をしたり、または、資格、検定を取得するために休学をしている人がほとんどでした。実際に、ホームステイを受け入れてくれたヨンウクさんも2年半の間休学をして、フィリピンへ英語を学びに行っていたと話をしてくれました。また、私たち研修団をお世話してくれた学生の中にも、休学をして日本へインターンシップをする予定だと話してくれた学生もいました。私は韓国の大学生からこのような休学についての話をきいて、日本と韓国では休学に対する考え方が違うと感じました。日本では、休学をする人は珍しく、休学に対するイメージも良くないように思えます。休学をすると卒業が延びてしまい、社会に出るのも遅くなるので休学を選択する人が少ないと思えます。しかし、韓国では休学中の時間は自分の能力を高めることのできる時間であり、将来の就職のにプラスになる期間だと考えているようでした。日本でも休学をする人はいるけど、韓国ではほとんどの人が休学をすることにとっても驚きました。韓国では就職が大変と聞いていたので、その厳しい競争を勝ち残るためにも、休学をして自分を成長させているのかなと思いました。同じ大学生でも国が違うと考えていることも違うという当たり前のことに、実際に韓国の学生と交流をする中で学ぶことができました。また、4年間で卒業するより、大学を

卒業するまでに何をして、何をやるのが大事だと感じました、なにより、大学は4年間で卒業して当たり前と思っていた自分の価値観、固定概念を見直すことができました。これだけでも、私は今回の祥明大短期研修に参加して良かったと心から思っています。

【研修中に感じたこと】

私は日本人でありながら日本のことに対して紹介や説明ができないとショックを受けたと同時に恥ずかしく思いました。ホームステイを受け入れてくれたヨンウクさんや、お世話をしてくれた韓国の学生から韓国の習慣や、食文化、歴史、学生の間で流行っていること、お酒の席でのマナーなど様々なことを教えてもらったが、「日本ではどうなのか」と聞かれた時、言葉に詰まってしまう場面が多々ありました。教えてもらったから、教えてあげたかったし、日本のことをもっと知ってほしかったが、日本についての知識が少なく、答えがあげられませんでした。海外に行ったときは、自分は日本人として見られているわけで、外国人からしたら自分が話すこと、伝えることがその外国人にとっての日本に対するイメージ形成に繋がるので、正しい情報をきちんと伝えられることも大事だと感じました。

【写真と共に振り返る韓国】

何枚かの写真と共に韓国で体験したことを伝えたいと思います。



チンジルバンで食べた、シッケ、蒸し卵、ラッポギ。卵の殻は頭で割るらしい。痛そうに聞こえるが意外と痛くない。チンジルバンにはサウナがたくさんあり、低温から高音まで6種類くらいの温度のサウナが楽しめる。ちなみに最終日の宿泊場所でした。

韓国人の間でも好き嫌いが分かれるらしい「スンデ」。豚の腸に豚の血、もち米、唐麵(でんぷんで作った麵)を入れて蒸した料理。挑戦してみたくて食べてみたが、私の口には合わなかった。「広蔵市場」の屋台ではどこでも売っている。





北村韓国村での集合写真。観光名所でもあるが同時に人が普通に住んでいるので、「静かにして下さい」と書いてある看板を目にすることが多々あった。住人がいるところが観光地となってしまうのも考えものだなと思った。

韓国のおでん。韓国でおでんと言えばこれらしい。魚肉のすり身でできていて、大きくて薄い。串に刺さっている状態が出てくる。安山のバスターミナルで待ち時間に食べた一品。お店の写真を撮っていたら、お店のおばちゃんに呼び止められたので怒られるのかと思ってドキドキしていたら、写真に写った自分が気に入らないから消してほしいと笑いながら頼まれた。自分が写っているのが恥ずかしいようだった。



【終わりに】

私は短期研修を通して人の温かさを感じました。一人でいると気にかけてくれて話かけてくれたり、荷物をそっと持ってくれたり、電車やバスでは席を譲ってくれたり、本当に優しい方々ばかりでした。予定を決めたり、案内をしたりと韓国の学生の方が私たちよりも大変だったにも関わらず、笑顔で私たちに接してくれた祥明大學校に学生方には感謝しても感謝しきれないほどです。今回の研修に携わってくださった、熊本県立大学の先生方、そして祥明大學校の先生方、私たちのために忙しい中、時間をさいてください本当にありがとうございました。たくさんの素敵な出会いに感謝して、これからの学生生活を過ごしていきたいです。

